

令和5年2月

小児診療科を有する一般病院・診療所
看護師の皆様へ

「小児看護における倫理的看護実践に関する認識および卒後研修の課題」に関する
調査協力をお願い

県立広島大学保健福祉学部保健福祉学科
看護学コース 松森 直美

時下、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、この度、「小児看護における倫理的看護実践に関する認識および卒後研修の課題」に関する調査を計画いたしました。

1970年代から欧米で医療を受ける子どもへの心理的な侵襲を軽減するためのプレパレーション(子どもへの説明、心理的準備)が看護分野に導入され、1990年以降、小児看護の業務の中で子どもと養育者へのわかりやすい説明の実施が推奨されてきました。看護師国家試験の出題基準にも子どもの人権に配慮した病院環境の整備、プレパレーション、インフォームド・アセント(説明と納得)に関する内容が取り入れられ、小児病棟での看護師の倫理的な看護実践の意識は着実に向上してきました。私たちの調査でも看護師の「子どもの知る権利の尊重」を意図した子どもへの説明は、2005年には7割、2010年には9割以上と増加しています。しかし、近年は、新型コロナウイルス感染症の増大における診療体制の見直しや短期入院の動向および拠点病院化から多様な小児医療の場における小児看護の専門性の質の確保はますます重要となっています。

そこで、今回の調査を行うことにより、混合病棟や診療所を含む多様な小児看護の場で勤務する看護師の倫理的看護実践の認識および、研修内容、研修形態に関するニーズを把握し、内容・方法を精練させた研修の機会の提供への資料としたいと考えております。

大変お忙しい中、誠に恐縮ですが、調査の主旨及び裏面の研究概要をご理解いただき、以下の URL または二次元バーコードにアクセスしていただきオンラインにて回答をお願いいたします。

尚、本調査への協力は自由参加です。上司や所属先の方に協力の可否を伝える必要はありません。

回答の所要時間は15分程度です。調査期限は【2023年3月26日(日)23時59分】までです。

調査回答の URL・二次元バーコード

URL <https://rsch.jp/3f7f12f018a0b721/login.php>



1. 研究目的及び意義

本研究の目的は、小児看護における倫理的看護実践に関する看護師の認識および研修の現状と要望を明らかにすることです。

本研究の実施により、小児病棟に限らず混合病棟や地域の診療所等の多様な場で小児看護を実践している看護師に対する小児看護に特化した倫理的看護実践の研修の現状の課題や要望に応じた研修開催へ向けた資料にしたいと考えています。

2. 研究方法

1) 調査対象者

小児診療科（混合病棟、診療所含む）または小児患者の看護に従事する卒後2年目以上の看護師 計2000名

2) 調査内容

以下の内容について選択式または記述により回答していただきます。

- ・属性（看護師及び小児看護の経験年数、職位、勤務病棟の種別、病床数、看護師数）
- ・心理的準備と倫理的看護実践の実施状況、実施理由、実施方法、実施対象の処置・ケアを行う子どもの年齢、実施できない場合の理由、実施に必要な課題、解決策
- ・心理的準備に関する教育の状況、研修の現状と要望（研修内容、開催の形態など） など

3) データ収集方法

研究対象者各自で説明文の下に提示した調査の URL または二次元バーコードにアクセスし、オンラインで回答を送信してください。

3. 倫理的配慮

調査は無記名で行い、個人が特定されることはありません。無記名での回答のため、調査を撤回される場合は、回答を送信する前までに限り可能です。

回答の所要時間は15分程度です。勤務に支障のない時間にご協力ください。

本調査への協力は自由参加です。上司や所属先の方に協力の可否を伝える必要はありません。また、上司や所属先の方に協力の有無が伝わることはありません。

記述回答に固有名詞が書かれた場合は、記号化して記録します。

回答内容は外部に流出しないよう、データ管理は厳重に行います。また、データは本研究目的以外には使用いたしません。調査用紙の配布及びデータ収集を調査専門会社に委託しますが、情報保護方針に則り、データを厳重に管理いたします。

データを保存している USB は、研究結果の最終公表を研究機関の長に報告した日から3年を超過した日まで保管し、3年を超過した後、デジタルデータは完全に消去するツールを使用して確実に消去いたします。尚、本研究は、県立広島大学研究倫理委員会の承認を得て行います。

4. 利益相反に関する状況

本研究は、日本学術振興会研究費助成基盤研究(c)「多様な小児看護の場における倫理的看護実践強化プログラムの構築」の一環で行います。開示すべき利益相反はありません。

5. 結果の公表

本研究結果は、国内外の看護の学会、科学研究費助成事業データベース等で公開いたします。

6. 研究者への連絡先

本研究に関する質問等がありましたら以下へお問い合わせください。

研究者：松森 直美（県立広島大学保健福祉学部保健福祉学科看護学コース 教授）

住 所：〒723-0053 広島県三原市学園町1-1

電話・FAX：0848(60)1165（研究室直通）